

科目名		微生物学特論	
科目責任者	齋藤光正	(微生物学 教授)	
担当者	福田和正	(微生物学 准教授)	
	宮原敏	(微生物学 助教)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>微生物の一般的な形態、構造、分類、増殖、遺伝学、感染の機構を学んだうえで、個々の病原微生物の生態の特徴とそれが与える宿主への病原性を総合的に理解する。一方で、生体内に生息する微生物叢と宿主との関係についても理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 微生物の発見、研究の歴史について概説できる。 2) 微生物の形態と構造、分類について概説できる。 3) 微生物の増殖と生理・生化学、培養方法について概説できる。 4) 微生物の遺伝学について概説できる。 5) 微生物の感染機構について概説できる。 6) 環境と微生物、常在微生物叢について概説できる。 7) 各病原細菌の特徴、病原性、感染症について説明できる。 8) 各病原ウイルスの特徴、病原性、感染症について説明できる。 9) プリオンの特徴と疾患メカニズムについて説明できる。 10) 微生物叢と宿主との関係およびその関連疾患について概説できる。 11) 微生物のもたらす感染症の変遷について概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論への参加度20%・発表50%・レポート30%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
微生物の発見、研究の歴史
微生物の形態と構造
微生物の分類
微生物の増殖と生理・生化学
微生物の遺伝学
微生物の感染機構
環境と微生物
常在微生物叢
各病原細菌の特徴
各病原細菌の病原性と感染症
各病原ウイルスの特徴
各病原ウイルスの病原性と感染症
プリオンの特徴と疾患メカニズム
微生物叢と宿主との関係およびその関連疾患
微生物のもたらす感染症の変遷